

石一郎 いしやう 英米文學者、小説家。明治四十四年八月一日茨城縣生れ（一九二一）。昭和十一年東京帝國大學文學部英文科卒。東京新聞社文化部勤務、農業等を経く、明治大學助教。

著譯書 『樺火―山小屋隨筆集』（合著・高須茂編、昭和十七年二月一日朋文堂）、A・F・マンメリー著 『ヤルプス・コーカサス登攀記』（譯、昭和二十年十一月一日朋文堂）、『エーデルワイヌ叢書』、スマイス著 『山の魂』（譯、昭和二十二年六月一日朋文堂）、『ベルクハイル選書』、『朋友の文学―F・S・ナイッツジエラルド論』（昭和二十二年二月十日南雲堂）、『南雲堂不死鳥選書』、『標高八八四〇メートル』（昭和二十五年七月二十五日河出書房新社）、クルト・ジンガー著 『死の獵人―ヘミングウェイ伝』（訳、昭和二十七年四月十五日荒地出版社）、『蒼い岩壁』（昭和二十九年二月五日光風社）、『喪失の世代』の文学（現代アメリカ小説の出版）（昭和二十九年八月二十一日紀伊國屋書店「紀伊國屋新書」）、『海のサムライ』（昭和四十八年八月十日河出書房新社）等。

